



審判(副)委員長

## 戦評用紙



種別 **バレーボール (精神)** 会場 **小浜市民体育館**

平成 **30** 年 **10** 月 **14** 日 日曜日 第 **2** 日目

特設Aコート 第 **5** 試合

1回戦(第 試合)  準決勝(第 2 試合)  3位決定戦  決勝戦  交流戦(第 試合)

◎試合結果

(該当する種別にレ印)

勝利チーム	}	25	—	12	}	0	大阪府	
<b>埼玉県</b>		25	—	21				都道府県、指定都市名
2		—	—					

都道府県、指定都市名

【審判員】

主 審： 杉下 真文(福井県) 副 審： 辻 弘文(福井県)

記録員： 内藤 和志(福井県) A・S： 中村 洋太(福井県)

【戦 評】

記載者： 東 條 悟

準決勝第1試合は、攻撃力のあるスパイカー陣を擁するチームの対戦となった。第1セットは、大阪府14番細井の2連続ブロックを含む3連続得点から始まる。対する埼玉県も、13番櫻井の活躍で着実に得点を積み重ね、試合の主導権を譲らない。中盤で、埼玉県8番原のライトからのスパイクやブロックポイントで一気にリズムをつかんだ埼玉県がリードを広げ、そのまま第1セットを先取した。

第2セットは、両チーム大きくメンバーを変えて試合に臨んだ。序盤で大阪府12番立岡のスパイクが冴えて大阪府が先行したが、埼玉県が9番加藤の連続スパイクポイントなどの目覚ましい活躍で逆転に成功する。その後は両者譲らずにサイドアウトの応酬が続く。最後は、堅い守りとブロックの的を絞らせない巧みなトス回して得点を重ねた埼玉県がストレートで決勝へと駒を進めた。